

熊本地震

総社に発着基地

AMDAと10自治体 益城町へ物資輸送

災害時応援協定を結んでいる国際医療ボラ

ンティアAMDA(本

部・岡山市)と総社市、

丸亀市は19日、熊本地

震の被災地支援活動に

乗り出すと発表した。

高知、徳島県と両県の

6市町とも連携し20日

から、総社市を発着基

地とした救援物資輸送

の「シャトル便」を運

後1カ月間で4、5回

を予定して

いる。

20日は

水、保存食、

衛生用品と

現地での活

動用の電気

自動車2台

を発送。同

時にAMD

Aの医師、

看護師ら4

人と総社市

職員を派遣

する。

総社市役

所で19日、

会見した片

表(右から2人目)ら



熊本地震被災地支援活動について説明する菅波AMDAグループ代表(右から2人目)ら

岡聡一総社市長と菅波茂AMDAグループ代表は「多くの自治体と民間団体が連携すれば、その力は大きい。息の長い支援をしてい

建物の危険度調査

県と岡山、倉敷市 判定士10人派遣

熊本地震で被災した建築物の危険性を確認するため、県と岡山、倉敷市は19日、応急危険度判定士の資格を持つ職員計10人を熊本市に派遣した。約1週間滞在し、1日計75棟前後をチェックする。県庁前では、県が派遣する土木部職員6人の出発式があり、足羽憲治副知事が「被災者の安全確保に向け、懸命に活動してほしい」と激励した。岡山、倉敷市からも職員各2人が出発した。判定士は、被災した住居などの基礎や柱、

く」と話した。

AMDAと総社、丸

亀市は大規模災害が発

生した際、互いに物資

提供と人員派遣を行う

応援協定を結んでいる

ほか、南海トラフ地震

に備え、高知、徳島県

の7市町を支援する体

制整備を進めている。

(古川和宏)

住者や通行人に情報提

供する。熊本県内の判

定作業は17日から始ま

っているという。

岡山県は19日、健康

相談業務に当たる保健

師ら4人も熊本県西原

村に派遣した。

(難波孝光)

県営住宅10戸

無償貸し出し

無償貸し出しすると発

表した。

貸し出すのは岡山、

倉敷、備前市内の計10

戸。罹災証明書の交付

を受けた人が対象で、

家賃は6カ月間免除す